

令和元年白老町議会産業厚生常任委員会協議会会議録

令和元年 5月16日（木曜日）

開 会 午前11時19分

閉 会 午前11時25分

○会議に付した事件

1. 予算計上事業の中止について（建設課）
-

○出席委員（6名）

委員長	広地紀彰君	副委員長	本間広朗君
委員	氏家裕治君	委員	森哲也君
委員	松田謙吾君	委員	山田和子君

○欠席委員（なし）

○説明のため出席した者の職氏名

建設課長	下河勇生君
建設課主幹	定岡あゆみ君
建設課主幹	小山内淳君

○職務のため出席した事務局職員

主査	小野寺修男君
書記	村上さやか君

◎開会の宣告

○委員長（広地紀彰君） ただいまより産業厚生常任委員会協議会を開会いたします。

（午前11時19分）

○委員長（広地紀彰君） 協議事項は平成31年度予算、はまなす団地解体事業の中止についてということで担当課より説明を求めます。

下河建設課長。

○建設課長（下河勇生君） 協議内容は委員長がおっしゃいました、予算計上事業の中止についてのご報告でございます。1. 事業名、町営住宅解体事業でございます。予算科目、8款土木費、6項住宅費、2目住宅管理費、15節工事請負費、予算額は2,011万9,000円を計上しております。事業内容は萩野にありますはまなす団地解体事業A棟・B棟の2棟8戸、昭和50年度に建設しているものでございます。別紙に整備計画図を添付してございます。財源につきましては交付金としまして社会資本整備総合交付金、2分の1ですが1,005万8,000円が交付されるものでございます。こちら中止にいたる理由ですが交付金が交付されなくなったために財政的に実施が困難となったためでございます。2. 経過でございますが、3月15日に道より平成31年度社会資本整備総合交付金に係る要望を取りまとめた結果、例年度以上に要望額が増加し、交付金などの配分が全体に行き渡らないため、各事業の調整が行われ、本町要望のはまなす団地の解体事業に係る交付金が要望の交付が難しい旨の連絡を受けました。最終的に4月1日に正式通知と受けております。3. 主な調整理由でございますが①直近で跡地利用が予定されていない除去事業を先送りする。②2カ年事業の場合、令和元年度の国費を減額調整し、令和2年度の増額して年度間調整を行う。③整備個数等を減少するなど事業を縮小し、国費を圧縮する。本町におきましては①のはまなす住宅解体事業の跡地利用が予定されない中で除去事業の先送りの対象にされたものでございます。4. 調整市町村は胆振管内においても4市町、道内約70市町村が今回何らかの調整が行われている状況でございます。4月の令和2年度の交付要望のヒアリングをしたときに今回のことも踏まえた中で基本的に調整があったところは翌年度は優先的に交付する予定であると言われていたところでございます。今後の予定ですが定例会6月会議におきまして全額減額補正を上程する予定としております。今回の事業につきましては来年度改めて計上させていただく考えでおります。以上で説明を終わらせていただきます。

○委員長（広地紀彰君） 説明が終わりました、委員からの質問何かありましたらどうぞ。

氏家委員。

○委員（氏家裕治君） 下河課長のお話で理解はしたのですが、この31年度の社会資本整備総合交付金に係る事業に道内から予算要望が殺到したということでしょう。殺到して直近で跡地利用の無い事業は来年度にしてくださいと。今年度はこういうことで使わせてもらいますということで、今回削除された事業については令和2年の事業の中でいきますと。それも果たして令和2年の中で胆振管内4市町、70市町村が全てできるのかはっきりしたことが言えない話なのでしょ。いずれにしても胆振振興局からの答えとしては今回の受け入れなかった事業につい

ては令和2年に優先的に事業配分するという捉え方でいいですか。

○委員長（広地紀彰君） 下河建設課長。

○建設課長（下河勇生君） そのとおりでございます。この事業は今回白老町は該当したんですが例年何らかの調整が行われていた状況でございました。最近、特にヒアリングの時に多く出てきているので逆に今後調整される場所が多くなってくるのではないかというお話でありました。お話のとおりヒアリングの時には優先的にとお話しされているのですが、そこは要望していきたいと思っております。もしかしたら若干調整される可能性も無いとは言い切れません。

○委員長（広地紀彰君） ほかの委員からは何かございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎閉会の宣告

○委員長（広地紀彰君） これをもちまして産業厚生常任委員会協議会を終了いたします。

（午前11時25分）